ほし組　０・１歳児

月齢の小さい子も床遊びができる時間が、ふえてきました。

感触あそび

新聞紙・お花紙・春雨などいろんな感触に触れ、ちぎったり、丸めたりと指先も使います。集中して遊ぶ姿が見られます。

段ボールあそびは、中に入ったり、ボールを上に並べたりと、子どもたちがイメージを膨らませて、遊びも広がります。

戸外あそび

清水緑地公園やルーフガーデンでの探索。
秋みつけや、自然物をみつけ指さしをする子、思わず声がこぼれる子、子どもたちの心が動いた瞬間を大事しています。

栗のイガをみつけました。

はな組　１歳児

泥んこ遊び

固くてスコップでも掘れない土が、水を加えていくことで「ドロドロ」から「シャビシャビの泥水」へと変化していきます。子どもたちは、楽しみながら変化を学んでいます。初めは泥の感触が嫌そうだった子も、少しずつ慣れてきて、素手でも楽しめる子も見られるようになりました。

身の回りの事に関心を持ち、自分で挑戦しようとする姿がみられます。「できた！」の喜びを共感しながら、自分でやってみようとする気持ちを大切にしています。

戸外遊び

ルーフガーデンを飛ぶトンボと一緒に、両手を広げて走る姿や、「ハイシーハイシー」と四つ這いや高這いになり、馬になって体を動かす姿がみられました。清水緑地公園では、散策しながら秋見つけをしました。「あったー」と得意げに木の実やドングリを拾っています。

そら組　２歳児

戸外あそび

公園や自然の中へ出かけ、全身を思い切り使って遊びます。
友だちの影響を受け挑戦したり、励ましあったりする姿がたくさん見られます。

遊びを通し、握る・踏ん張る・など、全身バランスが育っています。

音脳プログラム　音みっけ（週１回）
季節の歌、ピアノの音に合わせ様々な楽器を使いリズム表現して遊びます。ハンドベル、ボンゴ、オーシャンドラムなどの楽器にも触れます。

『コレナ～ンダ？』
『ブロッコリー』
やり取りしながら
ごっこあそびに発展しています

食育あそび

食材カードを使い １ 日に食べる食材を黒板に貼りつけています。